




就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	琴の浦福祉工場
住 所	和歌山県和歌山市毛見1437
電話番号	073-445-5722

事業所番号	3010120289
管理者名	藤村 由華
対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所：パナソニックエナジー（株）二色の浜工場 ・実施日程：12/12 ・実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 <p>パナソニックエナジー（株）二色の浜工場見学の実施</p>	<p><活動の様子></p> <p>パナソニック エナジー株式会社二色の浜工場の見学にあたり、事前に見学の目的や注目すべきポイントについて職員より説明を行い、利用者が理解しやすい状態で見学に臨めるよう準備を行いました。</p> <p>見学の実施にあたっては、エナジー社ご担当者様をはじめ、多大なるご協力を賜り、関係者と連携を図りながら円滑に進めることができました。</p> <p>見学当日は、実際の製造現場や作業工程を順に確認しながら、製品完成までの流れや各工程の役割について理解を深めました。利用者は説明を受けながら熱心に見学を行い、普段携わっている作業との関連性を意識しながら学ぶ様子が見られました。</p> <p>見学中には疑問点をその場で確認するなど、主体的に理解を深めようとする姿勢も見受けられました。見学後には振り返りを行い、学んだ内容を整理することで、日々の作業への意識づけを図りました。</p>
<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい ・利用者にとってのメリット <p>パナソニックエナジー（株）二色の浜工場の見学を通じて、製造工程やものづくりのつながりへの理解を深めるとともに、日々の生産活動へのモチベーション向上を図る。</p>	   <p>振り返りとしてアンケートの実施とその内容の共有を2026年1月15日の職場懇談会にて行いました。</p>
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施した結果：実際の製造現場を見学することで、作業工程や製品完成までの流れについて具体的に理解することができました。また、品質管理や安全対策の重要性についての認識も深まり、ものづくりの一連の流れを把握することができました。 ・得られた成果：ものづくりのつながりを理解することで、日々の作業に対する目的意識が向上しました。その結果、生産活動へのモチベーションの向上につながるとともに、利用者の知識および作業理解の向上が見られました。 ・課題点：見学で得た学びを日常業務へ定着させるための継続的な支援が必要 	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p><意見></p> <p>本取り組みでは、パナソニックエナジー株式会社二色の浜工場の見学を通じて、利用者が製造工程や製品完成までの一連の流れを具体的に理解する機会が提供されました。実際の製造現場を確認することで、日頃携わっている作業との関連性を認識でき、ものづくり全体の中での役割理解が深まった点を高く評価しています。</p> <p>また、品質管理や安全対策に対する意識が向上し、作業に対する目的意識や生産活動へのモチベーション向上につながったことが確認されました。事前説明や見学後の振り返りが適切に行われており、利用者が主体的に学ぶ姿勢を引き出す有効な取り組みであったと評価しています。</p>	<p><課題></p> <p>工場見学を通じて得られた知識や気づきを、日常業務において継続的に活かしていくためには、定着を図るためのフォローアップが必要であると考えられます。見学後の振り返りや、実際の作業と結び付けた指導・支援を継続的に行うことで、学びの深化および知識・能力向上の持続が期待されます。今後は、見学内容を作業指示や教育資料へ反映するなど、現場での実践につなげる工夫が課題であると認識しています。</p>
連携先企業（担当者）	パナソニックエナジー(株) エナジーデバイス事業部 調達部 辻 春海

利用者からの意見・評価

<p>パナソニック エナジー株式会社二色の浜工場見学の実施後、利用者からは、実際の製造現場や設備、作業工程を見学したことで、作業の流れや各工程の役割について理解が進んだとの声が多く聞かれました。特に、品質管理の徹底や整理整頓された作業環境、効率的な作業手順に対する関心が高く、自身の作業にも取り入れていきたいという意見がありました。</p> <p>また、見学を通じて各工程の必要性や作業の意味について考える様子が見られ、日頃の業務と比較する中で改善できる点に気づくなど、業務への理解がより深まっている様子が見られました。さらに、情報共有や資材管理、作業手順の分かりやすさなどについて見直しの必要性を感じている意見もあり、整理整頓の徹底や確認方法の工夫など、今後の改善につなげていきたいという前向きな声も見られました。</p> <p>全体として、今回の見学は理解を深めるだけでなく、日々の作業への意識や取り組み方を見直すきっかけとなりました。</p>
--